

事業所名

フォレストキッズ八事教室

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024年

9月

26日

法人（事業所）理念		教室に関わる全ての人が笑顔で心が豊かになれる居場所を提供します。					
支援方針		お子さま一人一人の「好きなこと」「得意なこと」に着目し、その子に合わせた環境を整え、「できる事」をスマールステップで段階的に増やしていき、自尊感情を高めることで、本来子どもが持っている自ら成長する力を養うための土台作りを行います。また保護者支援の一環として、個別相談や保護者交流会の機会を設け、保護者の持つ日ごろのお困り事を共有し、保護者の方の自尊感情を高めていただき、事業所と家庭と二人三脚でお子さまの成長を見守ります。そして、他事業所や各関係機関とも連携し、誰一人取り残されない支援体制作りの一環を担います。					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 身支度、片づけ、排泄、着替え、清潔など、基本的生活スキルの獲得や身辺自立を目指す。 設定された環境や流れに合わせて身の回りの事を自分で行えるように促し、生活能力の向上を図る。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 体を支える、認識する等身体の土台作りから細かい動作へスマールステップで繋げていく、細かい動作は繰り返し行うことで動きが滑らかになり日常生活動作の実用化を目指す。 感覚の鈍麻さや敏感さが日常生活に支障が出る場合、感覚統合療法を用いた支援を行う。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> タイムタイマーや絵カードを使用して視覚的に見通しを立てる、個室など囲まれた空間で刺激の軽減をする等の構造化をすることで落ちついて過ごせるようする。 アセスメントを重視し、子どもの特性に合わせて困っている行動がある場合、原因となる環境を事前に調整することで子どもが安心して過ごせるようする。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション能力の向上、問題の軽減のために、言語の獲得、発語、言葉の明瞭さを促す。 子どもの特性に合わせて、マカトンサインや絵カードを使い分けて、理解力の向上、言語の獲得を促す。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 非認知能力の向上のため、子どもから自ら環境へ関り、好きなものを遊びこむことで内面からくる欲求を満たし、やりきる力や自尊感情の向上を図る。 小集団で行う、リズム遊び、疑似体験（お買い物ごっこなど）、工作活動などを通じ、お友だちと共同で活動する場を設け、他者との関り方を学ぶ機会を作る。 					
家族支援		子どもが育つための環境を整える一環として、家族・家庭が子供にとって安心できる場所であることが必要と考えます。その家庭・家族が安心できる場所であるためのサポートとして、保護者の自尊感情を高められるよう、日々のお悩みなどを共有し解決される場として、個別相談や保護者交流会を実施します。また、家庭が安心できる環境であるために、兄弟児へのサポートも行います。	移行支援		・園訪問を積極的に行い、子どもの特性や求められる合理的配慮などを、園と情報共有をすることで、友だちとの関わる機会を増やせるよう支援します。		
地域支援・地域連携		地域社会とのつながりを大切にし、地域支援や地域連携の取り組みを積極的に行ってています。地域の保育所や学校、他の児童発達支援施設と連携し、情報共有や支援体制の強化を図ります。また、地域イベントへの参加や、地域住民との交流を促進し、子どもたちが地域社会に溶け込み、安心して生活できる環境を提供します。地域全体で子どもの成長を支える仕組みを構築しています。	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> スキルアップの為の研修に積極的に参加 研修報告会の開催 事例検討会の開催 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> だれでも参加できる親子教室の開催。 保護者が集う交流会や研修会を開催。 					